



MAEZAKI



池新田高校伝統の
砂浜マラソン



強風、小雨、砂嵐に耐え完走を目指す生徒たち (関連記事14分)

多種多様な仕事が集結 参加者全員が 五感で市内の産業を体感

秋晴れの中、活気に満ちあふれた「御前崎市大産業まつり」。
広報写真でイベントを振り返ります。

本市の一大イベント「御前崎市大産業まつり」が、11月24日と25日の2日間にわたり市役所周辺で開催されました。今回で14回目。

イベントは、事業者が商品を販売、展示することにより、それぞれの商品や取り組みを来場者やイベント参加者に知ってもらうことがねらいで毎年開催されています。来場者と事業者、事業者同士の交流も図られることにより市の産業がさらに発展していくことを目指しています。

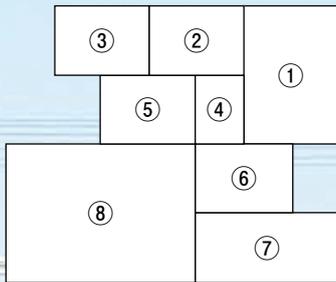
今年も例年よりも多い150店が出店しました。参加者は、前日や当日朝早くからテント内に装飾を施したり、商品を運び込んだりして準備に汗を流していました。秋の日差しが暖かく、日中は汗ばむほどの陽気となった両日。会場

場からは「このお茶おいしいから一杯飲んでって」「ウチのお店はこんな商品も売ってるんですよ」「おじちゃんと一緒にイス作ってみるか」「地元で採れた野菜、食べてみて」といった商品や仕事を紹介する会話や呼び込みの音が聞かれました。

来場者は2日間で延べ4万2千人。時間帯によっては、すれ違うことも大変なほどにぎわいを見せました。

各事業者が趣向を凝らして商品や仕事内容を発信した2日間。来場者を見て、聞いて、食べて、触れて、匂いを感じると、五感で市内の産業に触れました。来年もぜひ大勢の人にご来場いただき、市内の多種多様な仕事に触れていただきたいと思えます。

- ①子どもたちが実際にイス作りを体験
- ②③④⑤各事業者のブースには大勢の来場者が訪れ、買い物をしたり実演に見入ったりする姿が見られた
- ⑥子どもたちは重機や展示車両に目を輝かせ、実際に乗車するとうれしそうに記念撮影に応じていた。
- ⑦市民芸能発表がイベントに華を添えた
- ⑧事業者は趣向を凝らし自社製品をPRした







思いの詰まったタスキを掛け 全力で駆け抜けた駿河路

今年6月から6カ月間にわたり続いた練習一。
その集大成である「しずおか市町対抗駅伝」を広報カメラが追いました。



御前崎市チーム メンバー構成

- 1区 沖 千都 (浜岡中3年)
- 2区 寺井 大地 (第一小5年)
- 3区 藤田 祐咲 (第一小5年)
- 4区 松下 陽波 (浜岡中2年)
- 5区 栗林 健人 (掛川工業高3年)
- 6区 寺井 真幸 (会社員)
- 7区 武田 悠佑 (浜岡中1年)
- 8区 松井 彩 (御前崎中3年)
- 9区 漢人 ひかり (第一小5年)
- 10区 丸尾 ミカ (主婦)
- 11区 植田 航生 (浜岡中2年)
- 12区 野川 英樹 (東京経済大2年)
- 1500m男子 尾川 颯 (第一小6年)
- 1500m女子 坂本未怜唯 (東小5年)



第19回しずおか市町対抗駅伝が12月1日、静岡市内を舞台に開催されました。大会には、県内35市町から38チームが参加。12区間42.195kmを年齢や性別ごとに分かれ、タスキをつないでいきました。本市チームの総合タイムは2時間28分54秒。市の部24位という結果でした。

6月1日に開かれた代表候補選手指定証交付式の翌週から練習が始まり、半年間にわたって練習に打ち込んできた選手たち。猛暑の中でもひたむきに練習に取り組んできました。

当日は、どの選手も前方のランナーを見据え、少しでも差を縮めようと懸命に走っていました。沿道からは、御前崎から駆け付けた応援団が、選手の名前を書いたパネルなどを掲げ声援を送っていました。

清水楽監督は大会を振り返り「温かいご声援ありがとうございました。御前崎市チームはまだまだこれから発展していくチームです。年々力を伸ばし、8位入賞を狙えるチームになると期待しています。今後も選手の育成に力を入れていきます」と今後の目標を話しました。

ス 水野勝二さんが活動報告 スリランカで技術を指導

国際協力機構（JICA）のシニア海外ボランティアとしてスリランカに派遣されていた水野勝二さん（上朝比奈）が11月5日、2年の任期を終え、市役所で柳澤市長に帰国報告をしました。水野さんは現地の国立職業訓練大学で電気設備の指導に当たっていました。活動を振り返り「約9割が英会話。相手の言うことを理解できなかったこと、言いたいことを伝えられなくて歯がゆかった」と苦勞を話しました。



将 藪田悠翔さん国際大会で3位 来は世界で活躍したい

インドネシアで開催されたフリースタイルフットボールの国際大会に出場し、3位入賞を果たした藪田悠翔さん（女岩区）が11月7日、市役所を訪ね柳澤市長に喜びを報告しました。同大会は9月下旬に開かれ、アジア5カ国から代表選手32人が出場。3位決定戦では、インドネシア王者と対戦し見事に勝利しました。藪田さんは「将来は世界で活躍できるトップ選手になりたい」と意気込みを語りました。



W 出光興産株からディスプレイ貸与 杯へ機運高めてほしい

2019年ラグビーワールドカップ（W杯）の開催に伴い10月30日、機運醸成に役立ててほしいと市内に製造所を持つ出光興産株から、77型の有機ELディスプレイが市に無償貸与されました。貸与期間は1年間。有機ELディスプレイは、市内で製造された有機EL発光材料を用いたものです。柳澤市長は「大迫力の映像で、南アフリカとジョージアの情報を発信できる」と感謝しました。



火 防火ポスターコンクール表彰式 災の事故起こさないで

市消防本部が10月30日、小学6年生を対象にした防火ポスターコンクールの表彰式を執り行いました。同コンクールは、火災による死亡事故を無くすために防災意識の高揚を図ることが目的です。市長賞▶佐藤沙南（第一小）、教育長賞▶増田桢愛（白羽小）、消防団長賞▶伊藤はるか（浜岡北小）、消防長賞▶イーかおり（第一小）、優秀賞▶長尾天翔（第一小）、齋藤美那（御前崎小）、松本穂乃香（浜岡東小）



廣 臼井さんと森さんに感謝状 廣川靖晃さんが市長表彰

御前崎市表彰式と感謝状贈呈式が11月12日、市役所で執り行われました。市長表彰を受けたのは、アジア大会パラグライディング男子クロスカントリー団体で金メダルを獲得した廣川靖晃選手。市の介護予防運動指導士を10年務めている臼井久夫さん、森とく代さんには感謝状が贈られました。廣川選手は「皆様の支援のたまもので、心から感謝します」と謝辞を述べました。



飯 御前崎市大産業まつりで委嘱式 塚翔太選手が観光大使

本市出身でリオデジャネイロ五輪陸上銅メダリスト、飯塚翔太選手の観光大使委嘱式が11月25日、「御前崎市大産業まつり」のイベント内で執り行われました。市観光大使の委任は初。

御前崎灯台をかたどった委嘱状を受け取った飯塚選手は「御前崎を世界にPRしていきたい」とあいさつ。柳澤市長は「素晴らしい御前崎の観光資源を発信してもらいたい」と期待を寄せました。



大 防災力と防災意識の高揚を図る 大災害の教訓から対策を

市民会館で11月7日、御前崎市の防災力と防災意識を高めることを目的に平成30年度御前崎市防災講演会が開催されました。講師は、静岡県弁護士会所属の永野海氏。東日本大震災が残した課題や発災直後の避難方法、御前崎市で大規模地震が発生した場合の対処方法などについて話しました。受講者約250人は、講師の話真剣に聞きながら、今後役に立てようとメモをとっていました。



胸 出前授業で選挙の仕組みを学ぶ 胸を張って投票へ行こう

掛川特別支援学校御前崎分校で11月8日、模擬投票などを通じて、選挙や政治への興味を持ってもらうことを目的に「選挙出前授業」が開かれました。市選挙管理委員会が主催し、同校の3年生11人が授業を受けました。

講師は、市選挙管理委員会の6人が務め、「1票が身近な社会を変えるので、胸を張って投票所へ行ってほしい」と生徒に話しました。



将来の職業選択時の参考に 11/8

御前崎中学校で自分の将来や進路、生き方について考えることを目的に職業講話が開催されました。同校の1、2年生255人が参加。生徒は、14の企業ブースの中から興味のある職業を選択し、普段の仕事内容などを聞いていきました。各職業の仕事の楽しさややりがいに関する話を聞き、今後の進路の参考にしました。

◀生徒は各職業の魅力を食い入るように聞いていました



地元企業の仕事内容を知る 11/8

地域企業で活躍する社員の生の話を聞くことで、将来の進路決定に役立ててもらおうと11月7日から5日間、池新田高校のしぶき寮で「企業カフェ」が開かれました。市が主催し、同取り組みに賛同した13社が参加。生徒は、担当者から企業の取り組みや仕事内容を聞き、積極的に質問していました。

◀和やかな雰囲気の中で、担当者から話を聞く生徒



自分たちの手で自然を守る 11/11

美しい自然を守り、愛着を持ってもらうことを目的に浜岡砂丘やその周辺の自然について学習する「みどりの少年団活動」が開催されました。

参加したのは、第一小学校の4～6年生とその保護者などおよそ400人。砂防林について話を聞いた後、手分けをして公園内を清掃しました。

◀地元の自然を満喫しながら汗を流す参加者



爽やかな汗流し完走目指す 11/11

第8回マリンパークマラソンが、マリンパーク御前崎で実施され、市内外の小学生から一般まで約490人が出場しました。この大会は、地域や世代間の交流を深め、健康増進を図ることを目的に実施されています。レースは1キロから10キロの部門別で行われ、参加者は目標に向かって元気に駆け抜けました。

◀勢いよくスタートを切るランナーたち



災害時の食事確保のために 10/29

中遠調理師専門学校と NPO 法人御前崎災害支援ネットワーク、おまえざきアレルギーっ子の会が、3者間で災害時の協定を交わしました。

協定内容は、災害ボランティア活動の際、学校の設備が利用できるというもの。必要に応じてアレルギー食の炊き出しも優先されます。

◀アレルギー食のレシピ作成なども協定に含まれている



新箴会が園児にメダカ贈呈 10/30

新野川・箴川の自然を守る会の会員が、さくらこども園と北こども園を訪ね、メダカを園児にプレゼントしました。北こども園では、年長園児26人がタモを使ってメダカ2匹とエビ1匹をすくい上げ、水を張った容器の中に放ちました。榎林優会長は「命の尊さや環境保全の大切さを伝えたい」と話しました。

◀かわいいメダカを優しく容器へ放す園児



文化芸術の秋に触れ楽しむ 11/ 3

第14回御前崎市文化祭が10月30日から11月17日まで、市民会館や図書館アスパルなど市内各所で開催され、芸能発表や作品展示、囲碁や将棋の大会など、さまざまな催しが実施されました。日ごろ積み重ねてきた練習の成果や心の込められた作品などが披露され、見学者は文化の秋を満喫していました。

◀日ごろの練習の成果を発揮する出場者



植田春代さん 100歳に達齡 11/ 7

植田春代さん(佐倉一区)が11月3日に100歳を迎え、柳澤市長が祝い状や花束を贈り長寿を祝いました。

春代さんは90歳ころまでパン屋の店番を務めていました。100歳になった現在もご自身の力で歩くことができます。柳澤市長は「おめでとうございます。これからも長生きしてください」と祝福しました。

◀笑顔で柳澤市長から花束を受け取る春代さん

Crematory

建設候補地の検討 議論も大詰め段階

火葬場整備を考える

第4回火葬場建設候補地検討委員会が10月11日に開催されました。

委員会では、これまでの議論で浮かび上がった何カ所かの候補エリアと市民から推薦があったエリア、これに火葬場整備に十分な面積が確保できる市有地を加えた15カ所を候補エリアとして位置付け、それぞれを評価しました。

続いて11月26日に開催した第5回委員会では、12月中に市長へ提出する予定の「火葬場の建設候補地に関する検討結果報告書」の内容を協議しました。委員会では、具体的な候補地は

選定せず、候補地の選定に必要なとなる評価軸の設定と抽出された各エリアに対する意見集約をもって検討結果とすることを確認しました。また、候補地の選定は、市民意見を十分理解した上で別に定める評価基準に基づき、市が選定するよう要望することとしました。

第6回委員会は12月17日に開催される予定で、これまでの経過を含め、候補地の選定に関する検討結果を市長へ説明するとともに、報告書も提出する予定です。

最終的には、市の建設候補地選定会議を経て、平成31年3

月末までに市長が候補地を選定する予定です。

※火葬場は、建設予定地の地元同意を得られた上で決定します。



火葬場整備に関する詳しい情報は、市ホームページをご覧ください。

御前崎市火葬場

検索

照 会 環 境 課 ☎0537-1162

Atomic

暮らしと原子力

4市対協が
福島第1原子力発電所と
被災地の復興状況を視察

浜岡原子力発電所安全等対策協議会(以下4市対協)の代表メンバーが11月27日と28日、福島第1原子力発電所と被災地の復興状況を視察しました。4市対協での福島第1原子力発電所の視察は平成25年8月に続き2回目。

東日本大震災を起因とする福島第1原子力発電所事故からすでに7年8カ月が経過。避難指示区域の大部分は立ち入り制限が解除され、帰還困難区域でも除染工事が始まるなど、避難区域の復興再生が着実に進んでいる状況を目の当たりにしました。

視察では、福島県川内村の総務課長を務めていた井出寿一さんに被災地を案内していただき、復興状況について説明を受けました。「Jヴィレッジ」や「ここなら笑店街」(榎葉町)、「さくらモール」(富岡町)などの復興拠点施設や被災地

の街並みを見学しました。福島第1原子力発電所は、廃炉に向けた作業が着実に進んでいました。96㊦のエリアで一般作業服での作業が可能になるなど労働環境はかなり改善されていきました。現在、燃料取り出しに向けて準備が進められていますが、計画では30〜40年先に廃炉が完了するとのことでした。

4市対協では、被災地の復興への取り組みが一層加速していくことを念願するとともに、中部電力(株)に対し安全性向上に向けた不断の努力を積み重ねるよう求めていきます。

▲ロボット遠隔技術を視察



▲ロボット遠隔技術を視察

俳句 おまえざき俳句会

セミ大声で叫ぶ忠霊塔の夏
 気候変動 生まれ来る子の未来を思う
 満月が笑顔に見える群雲の風情
 ふることは芋煮の大鍋 汗を拭く
 怒る・叱る トゲは外して秋の香吸う
 自分は何者 ふと仏壇で話してみる
 呼び捨てで呼ばれて返す微笑です
 遠いものばかり懐かしむ いやいよかな
 老いの心を少女にした大花火
 いろいろな事あったな 私の人生って何色

増田 葉子
 増田 葉子
 山本 英子
 山本 英子
 中嶋みどり
 中嶋みどり
 中嶋みどり
 中嶋みどり
 栗林 純子
 栗林 純子
 栗林 純子
 栗林 純子

心の器変えた目の盛り合わせ
 まぶか帽すっぴんの心のぞく潮風
 災害 生きる選択奪われた
 玉の汗 亡夫に問いつつ包丁研ぐ
 ときめきは白いパラソル ワンピース
 秋冷に命燃やして虫すたく
 西郷どんの案山子に頼む維新の治世
 停電 座禅するよに 飯を食む
 年号変わっても昭和生れは昭和で生きる
 戦からはずれた腕 二本洗う

増森きく江
 増森きく江
 小野田重代
 小野田重代
 長尾美喜子
 長尾美喜子
 長尾美喜子
 長尾美喜子
 鈴木 喜夫
 鈴木 喜夫
 鈴木 喜夫
 鈴木 喜夫

PICK_01 一般

居酒屋ぼったくり10



東京下町にひっそりとある居酒屋「ぼったくり」。そこには旨い酒と美味しい料理、そして今時珍しい義理人情がある…。旨いものと人々とのふれあいを描いた短編連作小説第10弾。

著/秋川滝美

PICK_02 子ども用

クリスマスのあかり～チェコのイブのできごと～



1年生になったばかりのフランチは、クリスマスを楽しみに待っていた男の子。クリスマスイブの日、奥さんのお墓にそなえる花を盗まれてしまった気の毒なおじいさんを助けるために、大きな勇気を振りしぼり…。

作/レンカ・ロジノフスカー 絵/出久根育 訳/木村有子

今月の新着図書

●一般

- 沈黙のパレード(著/東野圭吾)
- 「違うこと」をしないこと(著/吉本ばなな)
- ゆっくり十まで(著/新井素子)
- ことことこーこ(著/阿川佐和子)
- 着物リメイクですっと着られる服(発行/日本ヴォーグ社)
- 写真集 美智子さまの時代(編/朝日新聞出版社)
- 高血圧の毎日ごはん(発行/女子栄養大学出版部)
- ママが楽になる絵本レシピ31(著/景山聖子)

●子ども

- パウルのスケッチブック(作/みやざきひろかず)
- ねこはちときんとつと(作/寺島ゆか)
- こすずめとゆき(文/深山さくら 絵/黒井健)
- 夜カフェ(作/倉橋燿子 絵/たま)
- 妖怪たぬきポンチキン 最強の妖怪あらわる!(作/山口理 絵/細川貂々)
- 犬の車いす物語(文/沢田俊子)
- ほろっと泣けるいきもの図鑑(監修/今泉忠明)
- 天からの神火(作/久保田香里 絵/小林葉子)
- そうだったのか! 歴史人物なぞのなぞ(作/楠木誠一郎 漫画/春原弥生)



「まちづくりふれあいトーク」での

ご意見やアイデアを

まちづくりを生かしていきます

平成30年度まちづくりふれあいトークが、9月1日から10月29日にかけて地区単位で開催されました。延べ289人の皆さんに参加いただき、教育やシニアプロモーションに関するご意見・ご提案をいただきました。テーマ別にご意見と市の考えをお伝えします。

御前崎の教育に対する意見

問「しおかぜ先生」を採用している理由は。

答 児童・生徒の学力向上と不登校生徒減少を目指して採用しています。少人数指導などを実施し、きめ細かな支援をしています。

問 中学校の部活動に地域の専門的な技量を持っている人を採用して教育に当たってもらうことはどうか。先生方の負担も減らすことができますか。

答 人材が豊富で、外部の人に部活動を指導してもらっている市町もありません。本市は人材が豊富ではありません。また、部活動も教育の一環であり、生徒指導という側面も併せ持つと考えています。一

方で、教師の多忙化解消は問題となっており、改善していかねばならない課題です。

問 部活動の技術指導だけではなく、生徒指導もできる人を公募し、教育委員会が認定しながら一緒にやっていくシステムを構築してはどうか。

答 他市の動向を踏まえ検討してまいります。

問 学校教育も大事だが社会教育にも力を入れてもらいたい。青少年健全育成に力を入れるとか、生涯学習も大切である。

答 教育という一般的なには学校教育が主になってしましますが、広い視野を持って考えた場合には、社会教育がその土台になるものだ

と考えています。意識して取り組んでいきます。

問 今の子どもたちが世の中に出ていくころには、人工知能（AI）が今以上に発達している世の中で生きていくことになる。AIが得意な分野は知識とか論理。これから子どもたちが大きくなったときに必要になると思われる右脳の教育、ひらめきとか創造、そういうものを強化するようなカリキュラムをぜひ御前崎市の小学校、中学校に取り込んでほしい。

答 ひらめきや創造力の育成は、新学習指導要領の中でも求めているものです。本年度から新しい学習指導要領の授業なども始まっています。それに沿った形で当市も進めていきたいと考えています。





岡子どもたちが自立して考えたことを議論する場があってもいいのではないか。

岡他市では議論の場があるところもあるように伺っています。子どもたちが自分たちのふるさとや市について考えていく良いきっかけになると考えられますので、ぜひ検討させていただきます。

岡池新田高校が来年100周年を迎える。横須賀高校との合併の話はどうなっているか。

岡合併の話は県教育委員会が考えています。同校の存続については、本市も県へ要望しました。改編や統合といった詳細は、まだ決定していません。県知事は「両校とも歴史があるので、存続させたい」と言っていました。池新田高校は、現在さまざまなことに取り組んでいます。市でも同校と協定を結びシテiproモーションなどに参画してもらっています。今後市や地域ぐるみで活動を続けていきたいと思います。

岡先生方が自然に関心を持っておらず、知識もないから指導できないと聞く。子どもの体験が少なく、学習会をやったらどうか。

岡幼少期から自然に親しむことは大事です。園の教育では、砂場で遊ぶ、野原で遊ぶといった勉強よりも遊びを第一に考えています。

子どもの自然に対する関心は、社会の風潮も関係しています。教職員も以前よりいろいろなことを教えなければいけなくなりました。複合的な原因により指摘された現実があると思われまます。自然に親しむような教育を各学校、研修などにも取り入れていきたいと思えます。

シテiproモーション

岡優秀な人材を御前崎が獲得するための作戦はあるのか。

岡今地方の大学が、地方に何が貢献できるかという活動をしているところでは、静岡大学、静岡文化芸術大学、静岡県立大学、東海大学、沼津高専もその取り組みに入っています。その学生が本市にきた際、市民や企業の人と会う機会を設け、御前崎市の良さや企業の良さ、この地域で暮らすことの素晴らしさを伝えられるかが一番のキーワードになると考えています。学生が自分に合った活躍のステージがあることを見つけ出せるような仕掛けも必要です。市だけの取り組みだけではなく、市民も企業の人も一体となって、学生に対し御前崎市をプロモーションすることが一番大事になると考えています。

岡シテiproモーションで「情報発信」が一つのキーワードと説明

があった。大勢の人が、大勢の人に情報発信することが必要ということ。年賀状を今でも1人当たり100枚とか、多い人は200枚程度出しているかもしれない。その発送先は恐らく全国に及ぶだろう。市で、年賀状に御前崎の魅力を刷り込み、市民に頒布していただければ、私はぜひ使いたい。数多く発信することが大事。ぜひ考えてもらいたい。

岡すばらしい情報発信の仕方。参考にさせていただきます。

岡池新田地区にある白砂公園は、河津桜の時期に市外から大勢観光客が訪れる。しかし、駐車場が少なく困っている。観光バスも来ているが、遠い場所に止めている。市で対策はあるのか。

岡現在、周辺で適当な場所がないか担当課で検討しています。

岡泊食プロジェクトはシテiproモーションに効果があると考える。一方、市民は知らない人が多く、親族や知り合いが来てもPRできない。もっと日常的に市内外に対しPRすることが大事。健康マイレージの賞品に食事券をプレゼントするなど市民に知ってもらうような取り組みも考えるべき。そういった横断的なアプローチを考えているか。

岡行政の中で広報やPRの仕方を検討していきます。

写真を使って御前崎の魅力を発信していきましょう

広報担当者が、市内で撮影した写真を自由に使っていただけるようになりました。年賀状などでご活用いただき、市の魅力を発信していきましょう。今後は年賀状などに利用できるテンプレート画像の提供も考えています。
掲載場所 市ホームページ【くらしの情報】→【市政情報】→【情報政策・個人情報保護】→【情報政策】→【御前崎市のオープンデータ一覧】



Information

照会 高齢者支援課地域包括支援センター
☎0537⑤1167

商工業の振興を図るため 設備投資への利子補給

市では、金融機関から借入期間2年以上の融資を受けて設備投資した商工業者に対し、利子を補給します。

対象者 原則、市内に在住し、事業を営んでいる商工会員

対象設備および融資

- ・平成29年12月1日～平成30年11月30日までに実行した融資
- ・30万円以上の設備
- ・設備近代化資金、設備貸与制度の対象設備および店舗(土地など対象外もあり)
- ・2年以上の借り入れ

限度額 5000万円以内

利子補給期間 5年以内

受付期間 平成31年1月7日(月)～平成31年1月18日(金)

照会 商工観光課
☎0537⑤1135
商工会
☎0537⑥2146

食料が購入できない人へ 食料の寄贈をお願いします

リストラや病気などの理由で働く場所を失い、食料が購入できなくなってしまった家庭のために食料の寄贈を募ります。

上記の理由で食料支援が必要な場合は、照会先へご相談ください。

回収期間 平成31年1月4日(金)～平成31年1月31日(木)まで

回収場所 福祉課、社会福祉協議会、浜岡福祉会館

希望食品 缶詰や瓶詰などの保存食品、レトルト食品、インスタ

ント食品、お米、飲料、ふりかけ、お茶漬け、のりといった常温保存が利くもの

食料の条件

- ・賞味期限が2カ月以上あるもの
- ・賞味期限が明記されているもの
- ・未開封であるもの
- ・破損で中身が出ていないもの
- ・お米は常識の範囲で古くないもの(もち米不可)

照会 福祉課
☎0537⑤1121
社会福祉協議会
☎0548③5294
浜岡福祉会館
☎0537⑥8066



募集 invite information

陸上自衛隊高等工科大学 生徒の願書受け付け開始

高等学校の普通科と同等の教育を受けることができるとともに、自衛隊の専門教育を学び、陸上自衛官として活躍することを目指します。自衛官候補生も通年で受け付けています。

受験資格 中学校卒業(見込み含む)15歳以上17歳未満の人

出願時期 11月1日(木)～平成31年1月7日(月)

1次試験日 平成31年1月19日(土)
照会 静岡地方協力本部 袋井地域事務所
☎0538④3717

人の動き

(平成30年11月末日現在の速報値)

	(前月比)
人口	32,779 (-50)
男	16,616 (-29)
女	16,163 (-21)
世帯数	12,111 (-10)

広報 今月の表紙



県立池新田高校の生徒が11月22日、同校の伝統行事とも言える砂丘マラソンに挑みました。

強風と小雨の中、生徒たちは前を見据え一生懸命走り抜きました。砂丘マラソンは、昭和39年度から実施されており、今年で54回目の開催となりました。

Loss time

今回、初めて池新田高校が実施する砂丘マラソンを取材しました。過酷な状況の中、一生懸命走る生徒を見て、自分も頑張らなくてはいけないと感じました。

これから寒さが厳しくなるにつれ、インフルエンザやノロウイルスが流行します。私は昨年、2度もインフルエンザに感染し、職場に迷惑をかけてしまいました。今年は、予防接種をしようと思っています。皆さんも感染しないように、手洗いやうがいなどで予防しましょう。 R

お知らせ information

年末の家庭ゴミの搬入 指定された日に出そう

今年も残すことあとわずかとなりました。年末は、大掃除で出たゴミを環境保全センターへ直接搬入する人が増え、大変混み合います。年末年始は、環境保全センターの営業日をごみカレンダーで確認し、早めに搬入しましょう。

ごみ集積所に出される家庭ごみの量も多くなります。散乱することのないようにしっかりマナーを守ってゴミを出しましょう。
※家庭ごみは、指定されたごみ集積所へ収集当日の朝8時までに
出してください。

直接搬入できない日

12月29日(土)～平成31年1月3日(木)

収集されない日

▶可燃物

12月31日(月)～平成31年1月3日(木)

▶可燃物以外

12月29日(土)～平成31年1月3日(木)

照会 環境課

☎0537^⑤1162

環境保全センター

☎0548^⑤0044

耕作をやめたい農地を 貸し出す手伝いします

耕作中、管理中の農地で、希望者に貸したい土地があれば下記提出方法のとおり依頼書を提出してください。農業者に紹介し、荒れる前に耕作者を見つけるお手伝いをします。荒廃農地で既に「農地における利用の意向について」の調査で貸し出す意向を回答された農地は提出不要です。耕作希望者は、照会先までご相談ください。図面などで貸し出し希望のある農

地を探すことができます。

提出方法 窓口や市ホームページ

上にある「貸出希望農地台帳掲載依頼書」を窓口またはFAXで照会先まで提出ください。

照会 農林水産課

☎0537^⑤1125

FAX0537^⑤1148

新成人の門出を祝う日 成人式1月13日(日)開催

日時 平成31年1月13日(日)

受け付け▶9時～、開式▶10時

会場 御前崎市民会館

※対象は、平成10年4月2日～

平成11年4月1日生まれの人。

平成30年11月1日時点で御前

崎市に住民票がある人と浜岡・

御前崎中学校の卒業生に送付し

ています。住所変更などの理由

で案内状が届かない場合は、照

会先へご連絡ください。

照会 社会教育課

☎0537^②8735

「骨粗しょう症検診」の 未受診者はぜひ受診を

骨粗しょう症は、自覚症状がないため、定期的に検査を受けて骨量を確認することが重要です。当初予定していた検診期間は終了しましたが、まだ検診を受けていない人を対象に、追加日程を設けましょう。

対象者 平成30年4月1日現在、

40,45,50,55,60,65,70歳の女性

場所 市立御前崎総合病院健診

センター

検査内容 問診・X線による骨塩

量測定

金額 500円

検診期間 平成31年1月15日(火)

～平成31年2月28日(木)

申込締切 平成31年2月19日(火)まで

※定員は1日5人まで。

申込み・照会 健康づくり課

☎0537^⑤1123

25歳～38歳対象とした はつらつ検診スタート

市では、25歳～38歳の健康診断の機会がない人を対象に「はつらつ健診(生活習慣病健診)」を実施しています。生活習慣病は若い世代にも増えてきています。この機会にぜひ受診してみませんか。

対象者 25歳～38歳

(平成30年4月1日現在)

場所 市立御前崎総合病院健診センター

検査内容 問診・身体計測・血圧・血液検査・尿検査

金額 1500円

健診期間 12月17日(月)～平成31年1月31日(木)

※妊娠中の人は受診できません。

また、小さなお子さんの同伴はご遠慮ください。

申込締切 平成31年1月15日(火)まで

※定員は1日5人まで。

申込み・照会 健康づくり課

☎0537^⑤1123

認知症の人と共に暮らす 講演会で理解を深めよう

神経内科専門医の小野澤里衣子先生を講師に迎え、「もっと知りたい 認知症のはなし～いつまでも楽しく生活するために～」をテーマに講演会を開催します。この機会に認知症という病気を知り、認知症の人への接し方や支援について一緒に考えましょう。

日時 平成31年1月19日(土)

開場▶14時30分 開演▶15時

場所 池新田公民館ホール

入場料 無料



＼かわいい！＼ おまえぎのたから 12月 生まれの 元気な子



ますだ れん 蓮くん1歳
(広沢区)



やまとりびき
山本響心ちゃん1歳
(本町)



ますだみなと
増田湊斗くん1歳
(下朝比奈)



ながのはるき
永野陽輝くん1歳
(上岬区)



すずきおとは
鈴木乙葉ちゃん2歳
(早苗町)



かとうしゅま
加藤朱磨くん2歳
(大山)

かわいい笑顔を募集します。
対象：2月生まれの1歳～
3歳児で、本コーナーへ掲載
されたことのない子
申込期間：1月7日(月)、8日
(火)の2日間、8時15分～17時
(最大8枠。先着順)
◆申込先：総務課
☎0537-1132



まるおゆあ
丸尾侑愛ちゃん3歳
(下朝比奈)



はざわらりく
萩原璃咲ちゃん3歳
(上比木)

このコーナーはケーブルテレビでも放送されます。

普段の食事に “野菜プラス1皿”



白菜のうまだれナムル

材料(4人分)

- 白菜 1/4株
- 塩 小さじ1弱
- ツナ缶 1缶(70g)
- いりごま 大さじ1
- しょうゆ 小さじ2
- ごま油 小さじ2
- 鶏ガラスープの素 小さじ1
- ニンニクチューブ 1～2割
- 粗びきこしょう 適量

- 1 白菜の葉は手でちぎり、芯の部分は千切りにする。
- 2 ボウルに1と塩を入れ、手でよくもみ込む。水分が出てきたら5分ほど置く。
- 3 2の水気を絞り、油をきったツナ缶とその他の材料を加え、よく混ぜ合わせる

▶ 1人分 = 71kcal